







# 子宮頸がん治療開発マップ 2019.2.

※特殊組織型（小細胞癌など）を除く

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎子宮全摘術 			
Stage IB1	広汎子宮全摘術 ± 術後補助療法 	JCOG1101 腫瘍2cm以下に対する準広汎子宮全摘術 2012.12→2022.8 	JCOG1402 (放射線治療グループと共同) 術後再発高リスク群に対するIMRT-同時化学放射線療法 <sup>1)</sup> 2017.4~  IMRT：強度変調放射線治療 	JGOG1067 骨盤リンパ節陽性術後イリノテカン+ネダプラチン (Phase II) 2010.1~2011.12
Stage IB2	再発中リスク群 - 術後補助放射線療法 	JCOG0102 術前化学療法 2004.11→2005.4 		JGOG 1082 (AFTER試験) 術後再発高リスク群に対する術後補助シスプラチンCCRT vs. 術後補助化学療法(TP or TC) (Phase III) 2019.4開始予定
Stage IIA	再発高リスク群 - 同時化学放射線療法 <sup>1)</sup>			
Stage IIB	(同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>			
Stage IIB (bulky)			GOTIC002 初回CCRT後 Consolidation UFT 2010.5~	初回(同時化学)放射線治療時のZ-100 追加検証：2004.9~→2013.3
Stage III				JGOG1066 シスプラチン-CCRT PhaseII →2012.8
Stage IVA				
Stage IVB	局所治療で制御可能	局所治療で制御不能		
再発	手術 または (同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>	TP療法・TC療法等の化学療法±ベバシズマブ* または 緩和治療	JCOG0505 局所治療で制御不能TP療法 vs. TC療法 2009.11→2011.12	JCOG1311 Tri-TC±Bev vs. ddTC±Bev (Phase II/III) 2015.10~
	標準化学療法後に増悪しマイクロサテライト不安定性を有するベムプロリスマブ単剤療法			局所治療で制御不能 GOG204 →TP療法 GOG240 →TP療法+ベバシズマブ

1) 同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はシスプラチン 40 mg/m<sup>2</sup>/w 5-6回投与)と外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用  
 TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Tri-TC：3週毎のTC、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC  
 TP：パクリタキセル+シスプラチン \* 2016年5月 本邦でもベバシズマブ (Bev) が子宮頸癌に適応拡大となっている